

魅力再発見！
わが町の伝統文化

久留米絣

かすり

夏は涼しく、冬には暖かい、四季を彩る着心地

福岡県南部に伝わる「久留米絣」は、備後絣、伊予絣と並ぶ日本三大絣の綿織物です。元々は丈夫で実用的な普段着として各家庭で手織りされていきましたが、今から約200年前、井上伝

という少女が綿織物の白い斑点模様に着目し、綿糸を括って藍で染め、織り上げて模様を生み出す新しい技法を考案しました。その技法の開発が久留米絣の発展に大きな影響を与え、久留米絣は1957年に木綿製品として初めて国の重要無形文化財に指定されました。

糸束いとたばを括くくって染色したものを織る、職人の手間と技術力を要する伝統的工芸品です。この「糸束を括る」作業を手作業で行うことを「手括り」

と呼びます。手括りは久留米絣の柄、そして全体の仕上りを左右する重要な工程で、職人の熟練した技が必要です。糸を染めてから織り上げるまで約3ヶ月、その工程数は30を超える非常に緻密な製作工程を経て完成します。

久留米絣には綿素材ならではの良さがあり、夏は涼しく冬は暖かい着心地が特徴です。日常に取り入れやすく、優しい風合いのかすれ模様が普段着に素朴な美しさを生み出します。現在では、伝統的な幾何学模様や藍染めだけでなく、モダンな柄やポップな色合いの製品も多く作られており、現代のお洒落に合わせやすい商品展開で変わらぬ人気を博しています。



取材協力

久留米絣協同組合

200年以上にわたり培われた、大切な伝統を守るとともに、品質のさらなる向上と、業界の発展を目指し活動を続けている。

〒839-0809
福岡県久留米市東合川5丁目8番5号
公益財団法人
久留米地域地場産業振興センター 内
TEL 0942-44-3701 FAX 0942-44-3705

URL <https://kurumekasuri.jp/>

